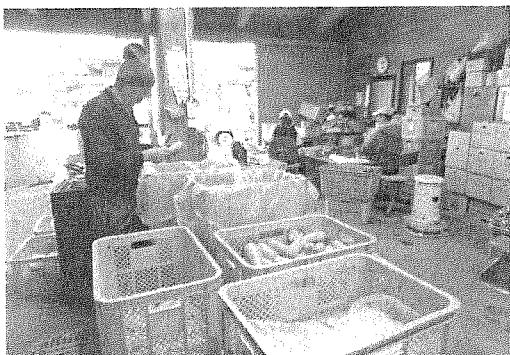


A
B
A

作業が減りラクに 生分解性マルチフィルム



「生分解性マルチフィルムは便利」と加瀬さん



加瀬さん

「生分解性マルチフィルムは便利」と加瀬さんは、加瀬さんの長年の経験から堆肥を入れるなど、土の具合を絶妙に調整す

る。加瀬さんは、「生分解性マルチフィルムだ。

「生分解性マルチフィルムを使い始めてから

た。時間になると半分以上は、減ったと思う。ト

ウモロコシのトンネル栽培で使っているが、いままでだ

と、杭を抜

加瀬嘉男さんは、代々 続く農家の4代目。80haの豊かな土地で、さまざまな野菜を栽培している。「野菜づくりの要是、土づくり」と語る加

瀬さん。富士山などの火

山灰が降り注いできた赤土の層である関東ロード

層を使つた土を活用し

た土づくりが、評判の野

菜を生み出す。土づくり

は、加瀬さんは、加瀬さ

んの長年の経験から堆

肥を入れるなど、土の

具合を絶妙に調整す

る。加瀬さんは、「生分解性マルチフィルムだ。

「生分解性マルチフィ

ルムを使い始めてから

は、労力、手間が激減し

た。時間になると半分以

上は、減ったと思う。ト

ウモロコシのトンネル

栽培で使っているが、いままでだ

と、杭を抜

現地 ルポ

千葉県香取市の加瀬農園（加瀬嘉男代表）の野菜は、都心の有名ホテルやレストラン、スーパーなどから評判だ。人参をはじめ、多くの野菜を作る加瀬さんだが、なかでも、トウモロコシは、糖度の高さ、香り、歯ざわりの良さなどからリピーターも多い。そのトウモロコシ作りを支えているのが、「生分解性マルチフィルム」だと加瀬さんは話す。

千葉県香取市の加瀬農園（加瀬嘉男代表）の野菜は、都心の有名ホテルやレストラン、スーパーなどから評判だ。人参をはじめ、多くの野菜を作

れる中、こうした資材は、大きな役割を果たす

と思ふ」。

今後の予定として、生

分解性マルチフィルムを

使いながら、トウモロコシの栽培面積を広げてい

く予定だ。

特に、フィルムを剥が

す作業は、夏のいわゆる

猛暑の中や、埃が舞う中

での作業などが多く、そ

れらの面からも従来の作

業のことを考えると、生

分解性マルチフィルムの

メリットは非常に大きい

と言えるだろう。

今後の展望について加

瀬さんは「『加瀬農園

』で東南アジアなど海外

にも展開していきたい

と熱く語ってくれた。